

(2) 次の文章の（ ）内にあてはまる最も適切な語句を選択し、ア～オの記号で答案用紙に記入しなさい。

1. 当期中の売上に対する売掛金が貸倒れになった場合には、貸倒れ額を売掛金勘定から減額するとともに（ ）勘定で処理する。

- | | | |
|----------|------------|------------|
| ア. 貸倒引当金 | イ. 貸倒引当金繰入 | ウ. 貸倒引当金戻入 |
| エ. 貸倒損失 | オ. 償却債権取立益 | |

2. 会社法では、配当を行うつど、一定の限度額に達するまで（ ）を積み立てることを定めている。

- | | | |
|----------|------------|--------|
| ア. 現金 | イ. 配当金 | ウ. 資本金 |
| エ. 利益準備金 | オ. 繰越利益剰余金 | |

3. 決算整理前の残高試算表の貸方に存在することがない勘定科目は（ ）である。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| ア. 当座預金 | イ. 土地 | ウ. 資本金 |
| エ. 売上 | オ. 仮受金 | |

4. 法人税、住民税及び事業税の中間納付を当座預金で行った場合、納付額を（ ）勘定の借方に計上するとともに、当座預金勘定の貸方に計上する。

- | | | |
|-----------------|-----------|--------|
| ア. 法人税、住民税及び事業税 | イ. 租税公課 | ウ. 前払金 |
| エ. 未払法人税等 | オ. 仮払法人税等 | |